

フランスの言語学

2001.9.21

復習と確認：

Siouffi, G. & Van Raemdonck, D. (1999) : 100 fiches pour comprendre la linguistique, Bréal,

Les concepts généraux

1. Qu'est ce que le langage?
2. La langue
3. Parole et discours
4. Les différents types de langue
5. Existe-t-il des universaux du langage?
6. Synchronie et diachronie
7. Le système
8. Paradigme et syntagme
9. Compétence et performance
10. L'usage et la norme
11. La variation
12. Bilinguisme et diglossie
13. Qu'est-ce qu'un registre de langue?
14. La règle
15. La faute
16. Le signe
17. Sens, signification et valeur
18. La référence
19. La cohésion et la cohérence
20. L'énonciation
21. L'énoncé

質問の答えと討論

appendice:

1. 言語変化に関する議論

Keller, R. (1994): On language change, *The Invisible Hand in Language*,
Routledge

1. There are things that are not the goal of human intentions and that are (therefore also) not the results of human actions (upright walk, the language of the bees, the weather, the Alps): 自然現象
2. There are things which are the results of human actions and the goal of their intentions (Westminster abbey, a cake, Esperanto): 人工的に作ったもの
3. There are things which are the result of human actions but not the goal of their intentions (inflation, the makeshift path across the lawn, our language).

人間の行動の結果ではあるが、人間がその結果を意図したわけではない。1と2の両方の特徴をもつ。つまり、言語は第3の種類の現象である。

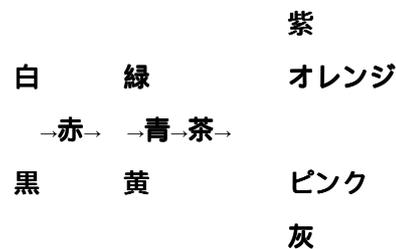
2. ケーススタディ：色 日・仏・英語の色彩を表す表現

- Des goûts et des couleurs ...l'on peut en discuter.
「色と味については誰でも言い分がある。」
- 『「赤、青、黒、白」という言葉がなにを意味しているのか』と尋ねられたら、私たちはもちろんすぐにこれらの色をした事物を見せることはできる。しかし、色彩をめぐる言葉の意味をさらに深く説明することはできない。』 ヴィトゲンシュタイン、『色彩論』、68」
- コーパスを使うとなにがわかるだろうか？
- 色彩をめぐる言葉をどう説明することができるだろうか？

物理学者は、色のスペクトルを400万から720万分の1ミリメートルにわたる様々な波長光の連続的尺度とみなすが、言語はこの尺度のいろいろな部分をまったく恣意的に明確な境界もなく区別しており、violet, bleu, gren, yellow, orange, redなどの色名の意味が決められている。さらには、様々な言語の色名は同一の段階付けをもっていない。(Bleemfield, 1933, *Language*, p.140)

われわれの研究結果は・・・各々の言語は3次元の色彩連続体を恣意的に他の言語とは関係なく分割するという、一般的に受け入れられている新年に疑問を呈している。様々な言語はその語彙のうちに様々な数の基本色カテゴリーを言語記号化しているけれども、いかなる言語であっても、11 または 11 以下の基本色彩語が導き出されるような、きっかり 11 の基本色カテゴリーからなる完全に普遍的な目録の存在が明らかになった。(Berlin & Kay, 1969, *Basic Color Terms-Their Universality and Evolution*, Univ. of California Press)

- 色彩語間の境界が言語によって著しく異なる場合でさえ、その焦点に関しては一致が見られる。
red によって表される色領域は人によって変動するが、典型的な red を構成するものは顕著な一致がある。
- 焦点色の含意階層関係



色彩は、言語カテゴリーの恣意性を示すどころか、その逆で、「深層の知覚・認知要因が言語カテゴリーの形成と指示に影響を与える最良の例である。」Taylor, p17

日本語の色彩語の検索：

	白			ホワイト		
	Jbook.txt	Tora.txt	岩手日報	Jbook.txt	Tora.txt	岩手日報
	白人:38	色が白い:10	白鳥:38	ホワイトカラー:21		ホワイトスノー安比号
	白鳥:23	白髪:9	白紙:24	ホワイトホール:11		オフホワイトの
	白書:19	雲:8	白書:9	ホワイトソース		ゆだホワイトベアーズ
	白紙:19	花:7	白磁:9			ホワイトステラ
	白金:16	白粉:4	白ワイン:9			
	白髪:12					
token	276	95	276	38	0	4

フランスの色彩語の検索：頻度順上位 5 語

	blanc/blancs/blanche/blanches					
	アルザスの地方紙	ブルターニュの地方紙	Humanite(仏共産党機関誌)	Le Monde(外交版)	Le Monde	Frantext(essai)1950-
	vin (ワイン)	fromage (チーズ)	vin (ワイン)	livre (白書)	livre (白書)	fond(背景)
	carte (白紙)	chou (キャベツ)	carte (白紙)	pouvoir (権力)	carte (白紙)	substance (物質)
	fromage (チーズ)	vin (ワイン)	cheveux (白髪)	homme (白人)	cheveux (白髪)	lumiere (光)
	jeu(ゲーム)	oignons (タマネギ)	pain (パン)	minorite (少数派)	arme(白兵, 刀剣)	globules (白血球)
	pierre(石)	veau (子牛肉)	livre (白書)	carte (白紙)	minorite (少数派)	vin (白ワイン)
type	625	813	586	1158	466	481
token	2189	5546	1674	2204	1144	2064

英語の色彩語の検索：頻度順上位 5 語 Cobuild direct

white/whites					
	times	today	ukbooks	ukspok	usbooks
	wine	wine	flowers	people	man(men)
	man	shirt	hunter	girls	people
	paper	flowers	man	paper	americans
	collar	collar	water	light	folks
	flowers	socks	collar	ones	collar
type	564	429	756	360	831
token	1095	748	1848	1062	1973

鈴木孝夫, 『日本語と外国語』, 1990 年, 岩波新書

犬, 猫, 太陽, りんご

りんごといえば赤ではなく、緑と決まっている国があるのだ。その代表はフランスである...
フランスにも日本と同じく、果物としてのりんごには赤も黄もあるのに、ただ pomme といえば、その色として緑を考えるのである。(p29)

オレンジ色の猫

I looked up at the numbers I was passing. 24, 23, 22, 21. Diana Lodge
(presumably 20, with an orange cat on the gate post washing its face),
19,,, ("The Clocks")

日本語の場合

- (3) 金物;屋;に;は;主人;と;奥さん;と; 黒い;犬;が;い;て;、;店;の;土間;の;左;に;
- (4) 「;黄金虫;」;や;「; 黒猫;」;など;を;発表する;が;、;三五;歳;で;
- (5) ;れ;た;ように;出;て;き;た;の;は;、;白い;猫;だ;っ;た;。
- (6) ベランダ;の;すぐ;下;で;、;白;猫;は;からだ;を;ふるわせ;ながら; (Jtext.txt)
- (7) 広い;お屋敷;の;芝生;の;上;に; 白い;犬;が;転;が;ってる;ような;、
(Tora.txt)

英語の場合: Cobuild direct

(black white red yellow orange bleu brown green)			
dog		cat	
black	7	black	20
brown	4	white	5
bleu	4	yellow	3
red	1	orange	1
		red	1

フランス語の場合:

chiens* (noirs* blancs* rouges* jaunes* bleus* verts* oranges* bruns* roux)							
犬		猫		太陽		リンゴ	
chien noir	59	chat noir	79	soleil noir	18	pommes rouges	8
chien blanc	22	chat blanc	24	soleil rouge	13	pomme rouge	5
chiens jaunes	14	chat roux	13	soleil jaune	8	pomme verte	4
chien jaune	13	chats noirs	8	soleil blanc	3	pommes rouge	2
chien roux	5	chats noir et blanc	3	soleil bleu	2	pommes vertes	2
chien rouges	2			soleils jaunes	1	pommes jaune	1
chiens noirs	2						
chiens verts	1						
シムノン, 「黄色い犬」							

-
-
-
- 以上の結果からわかること
 - 事実はわれわれが頭で想像するよりずっと豊かである。
 - コーパスの選択が重要なテーマとそうでもないテーマがある。
 - 日本語の分析には英語やフランス語とはまったく違った問題がある。この事実は方法論の問題として考えられるだけでなく、言語のタイプの違いとして言語学的な問題となる。(英語やフランス語のモデルに当てはめて日本語を考える危険性。)
 - 文献に書いてあることを鵜呑みにしてはいけない。
 - 本当にフランスのリンゴは緑なのか？英語の orange 色は基本色名なのか？フランスの jaune も基本色名なのか。

3. 言語の普遍的特徴とは？

チョムスキーの言語普遍論

グリーンバーグの言語普遍論：語順の傾向

<http://wings.buffalo.edu/linguistics/dryer/atlas>

Noun phrase accessibility

: 主語 > 直接目的語 > 非直接目的語 > 所有者

有生性の階層

人間 > 動物 > 無生物